

ふくしま子育て支援ネットワークの概要

2010年11月12日

NP0 法人うつくしま NP0 ネットワーク

1. 設立の趣旨

福島県の人口は、平成10年1月の2,138,454人をピークに減少しています。出生数、出生率の低下の原因として考えられることは、晩婚化や結婚しない、結婚しても子どもをつくらないなどが理由です。更に、原因を探れば、子育てと仕事の両立が難しい、子育ての負担が大きい、地域コミュニティの希薄化で地域や社会で子どもを育てていくことができないなど、社会的な問題があります。

この社会的な問題に、多くのNP0・ボランティア団体が、子育て・子育ての支援の最前線で活動しています。出産・子育てについて不安がある、子育てと仕事の両立はできない、一時預かりの内容を充実してほしい、一人親で子どもを育てるのは困難だ、地域で子どもを育てるといった具体的なことが分からない、など様々なニーズと意見が寄せられています。

一方、支援活動をしているNP0・ボランティア団体にも課題と悩みがあります。スタッフ・職員が不足している、活動する場所の確保が難しい、支援するための専門的な知識や技術の習得が進まない、県や市町村との協働が不十分だ、個人情報とプライバシーの壁のために、もう一歩踏み込んだ支援ができないでいる、などです。

また、県は3月に、「うつくしま子ども夢プラン（後期行動計画）」をまとめ、社会全体での子育て・子育てを支援していくことを確認しました。また、一昨年からはじめた、新“うつくしま、ふくしま。”県民運動では、「子育てしやすい環境づくり」を重点テーマにして活動しています。

ついては、「社会全体での子育て・子育ての支援」をしていくべきであるという立場を再確認しつつ、

- (1) 子育て支援をするNP0・ボランティア団体のスキルの向上と交流
- (2) 団体間の連携と地域住民、企業、県・市町村など行政との協働の強化などを目的に、ふくしま子育て支援ネットワークを設立します。

2. 概要

- (1) 名称：ふくしま子育て支援ネットワーク
- (2) 代表：子育て・子育ての支援活動を行っているNP0法人の関係者
- (3) 事務所：郡山市小原田2-1919 うつくしまNP0交流プラザ郡山 2F
- (4) 事務局：NP0 法人うつくしま NP0 ネットワーク

- (5) 運営：7つの方部別に世話人を選び、世話人会で運営していく。
- (6) 会費：3,000円（年間）主に、通信費
- (7) 対象：県内の子育てを支援するNPO・ボランティア団体（設立時、30団体程度）
- (8) オブザーバー：福島県子育て支援課、文化振興課

3. 事業内容

(1) 平成22年度

- ① 設立準備委員会の組成（呼びかけ団体は、15団体程度）
- ② 事務局・事務所などの準備など（この事務局が、ふくしま子育て支援ナビゲーターの役割を担う）
- ③ 設立総会（記念講演会。講師は、武田信子@武蔵大学教授。）
- ④ 子育て支援を推進するための県との意見交換会（NPOと県の協働推進会議として開催。主催：文化振興課・ふくしま県民活動支援センター）

(2) 平成23年度（予定）

- ① ふくしま子育て支援ナビゲーターの開設と運営
 - ・定期的な相談会の開催（週1-2回程度。）
 - ・子育て支援団体に関する情報の提供（支援内容がよくわかり、相談をオンラインで受け付けるホームページの開設。情報誌の発行。）
- ② 交流会・意見交換会
 - ・7つの方部別交流会の開催。市町村との情報と意見の交換会の開催
 - ・新しい県民運動「子育てしやすい環境づくり」の活動への参加
- ③ 子育て支援ができる専門家の養成
 - ・子育て支援者に役立つ専門的で体系的な講座などの開講
 - ・子育て支援のできるソーシャルワーカー養成講座などの開設に向けての活動（県内外の大学との連携事業）
- ④ 子育て支援団体の組織基盤の充実（支援団体への支援）
 - ・子育て支援団体のNPO法人化支援、資金調達支援など。
 - ・児童館などを活用した子育て支援に関する企画（指定管理者など。）

4. 日程

- (1) 11月下旬：第1回設立準備委員会（会則や事業などの討議）
- (2) 12月中旬：第2回設立準備委員会（世話人の選出、設立総会の準備）
- (3) 1月18日（火）：設立総会（武田信子先生による記念講演会、懇親会）
- (4) 2月上旬：県との意見交換会